

行政改革大綱実施計画書

大綱主要項目		健全な財政運営				
具体的な項目		歳入の確保				
実施計画項目		行政資源の有効活用（ふるさと寄附金）				
担当課		秘書広報課		関係課		
No. VI-2-(3)		令和 3	4	5	6	7
実施年度	実施計画			○	○	○
	効果又は 数値目標			寄附額 2 億円	寄附額 2.5 億円	寄附額 3 億円
進捗 状況	実績			S	S	S
	効果又は 数値実績			寄附額 約 6.8 億円	寄附額 約 11 億円	寄附額 約 6 億円
現状と課題						
ふるさと寄附金は、生まれ故郷や本市を応援したい寄附者から、6つの事業を推進するための資金として寄附を募るとともに、本市の認知度向上や「いちご王国栃木の首都もおか」をPRするプロモーション活動の一役を担っている。 現状としては、県内14市と比較しても寄附額は低調であることから、寄附額の増に向けて、真岡市の認知度向上と魅力ある返礼品の積極的なPRが課題として挙げられる。						
課題解決に向けた方策						
ふるさと寄附の増額に向けては、全国における本市の認知度向上と、商工会議所等や地元企業・店舗と連携し、魅力ある返礼品を増やす必要がある。 また、ふるさと寄附金を申し込めるポータルサイトを導入し寄附者とのタッチポイントを増やすとともに、デジタル広告やSNSを活用し魅力ある返礼品を積極的に周知する。						
具体的な取組内容						
新たに策定した真岡市ふるさと寄附戦略に基づき、クラウドファンディング型ふるさと寄附や都内におけるふるさと納税イベントに参加する等、認知度向上及び寄附額増加に向けた取組を行った。 これまで本市に寄付した実績のある方に、メールマガジンを配信するなどリピーター獲得に向けた取組も実施した。						
総括（推進期間全体における成果等）						
当初目標の寄附額を大幅に超える成果となった。返礼品の協力事業者及び返礼品数も大幅に増加したことが、寄附額増加に影響したと考えられる。令和6年度、令和7年度は、他自治体の状況や社会情勢など外的要因による寄附額の増減の影響も大きかった。						
今後の取組方針等						
ふるさと寄附事業は、財源確保の点からも寄附額増加に向け取組んでいく。 今後は、返礼品数を増やすだけでなく、寄附者のニーズに沿った既存返礼品のブラッシュアップも実施していく。 また、これから数年は毎年、制度改正が予定されており、寄附額の見直しや経費削減にも取り組んでいく必要がある。						